

第4次小平市子ども読書活動推進計画

— 子どもが本と出会うために —

【令和6年度進捗状況】

令和7年9月
小平市教育委員会

目 次

第4次小平市子ども読書活動推進計画 取組項目一覧	1
--------------------------	---

第1 家庭における読書活動の推進	2
------------------	---

第2 学校等における読書活動の推進	5
-------------------	---

第3 図書館・地域における読書活動の推進	8
----------------------	---

第4次小平市子ども読書活動推進計画 取組項目一覧

大項目		事業項目	所管部署
1 家庭における 読書活動 の推進	1	【新】乳幼児とその保護者へのサービス	図書館
	2	【新】ブックスタートの実施	こども家庭センター、 図書館
	3	図書館における行事の定期的な開催	図書館
	4	【新】これから子育てをする方へのサービス	図書館
	5	おはなし室の開放	図書館
	6	子育て支援課との連携	子育て支援課、図書館
2 学校等における 読書活動 の推進	1	学校図書館指導年間計画の作成と実施	学校、指導課
	2	学習情報センター機能の充実	学校
	3	学校図書館システムの整備	学務課、図書館
	4	学校における市立図書館資料の活用	学校、図書館
	5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課、学校
	6	学校図書館担当教諭の資質向上	指導課、学校
	7	啓発・広報の充実	学校
	8	児童・生徒の主体的な読書活動の推進	学校
	9	小・中学校の学校図書館の機能の充実	図書館、指導課、学校
	10	学校図書館協力員への研修会の開催	図書館、学校
	11	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館
	12	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	図書館、指導課、学校
	13	幼稚園の図書館見学	図書館
	14	保育園における読書活動の推進	保育課
	15	幼稚園における読書活動の推進	図書館
3 図書館・ 地域における 読書活動 の推進	1	小学校入学年時における図書館案内	図書館、学校
	2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館
	3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館
	4	市内小・中学校におけるブックトークの実施（図書館・学校）	図書館、学校
	5	読み聞かせに関する講座の実施	図書館、公民館、 地域学習支援課
	6	子どもたちにとって魅力ある図書館の環境整備	図書館
	7	【新】子どもの読書推進の支援	図書館
	8	職場体験、奉仕体験、インターシップや実習生の受け入れ	図書館、学校
	9	【新】ティーンズ委員会の開催	図書館
	10	【新】情報リテラシーの支援	図書館
	11	【新】アーカイブの利活用促進	図書館
	12	市内の高等学校との情報交換	図書館
	13	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館
	14	ホームページの充実	図書館
	15	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館
	16	児童館における読書活動の推進	子育て支援課
	17	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課
	18	学童クラブにおける読書活動の推進	子育て支援課
	19	児童文学講演会の開催	図書館
	20	リサイクル本の提供	図書館
	21	子ども読書の日にちなんだ行事の開催	図書館

施策項目の【新】は第4次計画における新規項目

【第 4 次小平市子ども読書活動推進計画】令和6年度 進捗状況調査報告書

1 家庭における読書活動の推進

施策項目の【新】は第 4 次計画における新規項目

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
1	【新】乳幼児とその保護者へのサービス	図書館	・「乳幼児タイム」の実施 乳幼児と保護者が、読み聞かせする声などを気兼ねすることなく図書館に滞在できる時間帯を設定	・中央図書館で毎週火曜日午前 10 時 30 分から正午まで「乳幼児タイム」を実施した。	・引き続き、地区図書館での実施も検討する。
			・乳幼児と保護者が安心して長い時間図書館で過ごせる環境づくり ・小川駅西口新公共床に新しい小川西町図書館を整備し、誰もがくつろいで滞在できる場とする環境づくり	・中央図書館の乳幼児コーナーに、ウレタンマットを敷くなど、安心して利用できるように環境づくりを行った。 ・図書館では、良質な本をまとめて選び、自宅でゆっくり楽しめるように、各館で絵本の展示やパック貸出を行った。 ・中央図書館で未就学児とその保護者を対象に、イベント「休館日の図書館に親子をご招待」を実施した。 参加：7 家族 15 名 ・新しい小川西町図書館の設計について、図書館利用者にとって居心地の良い施設が実現できるよう引き続き調整した。	・今後も、安心して心地よく図書館利用ができるよう、図書館の環境づくりに努める。
2	【新】ブックスタートの実施	こども 家庭センター ・図書館	・3～4 か月児健診時、こどもと保護者にボランティアが読み聞かせをした後で絵本を配付	・3～4 か月児健康診査時にこどもと保護者に対し、ボランティアの読み聞かせの後で絵本を手渡すブックスタート事業（平成 30 年 4 月開始）を引き続き実施した。年間で 24 回実施し、健診受診者 1,198 名を対象に、絵本と赤ちゃん絵本リスト、図書館利用者登録申込書を合計 1,194 名分配付した。 ・読み聞かせのボランティア向け講演会「どの本よむ？～絵本の選び方と読み聞かせの魅力～」を実施した。 講師：JPIC 読書アドバイザー 参加：29 名	・子育て中に図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て支援の促進の場として充実を図る。 ・家庭においても絵本を通じたこどもと保護者とのふれあいの時間を持ってもらうきっかけづくりとする。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
3	図書館における行事の定期的な開催	図書館	・各図書館で「おはなし会」、「絵本のへや」を定期的 to開催し、また季節に合わせた特別な「おはなし会」を開催	以下の事業を全館で行った。 ・定例の「おはなし会」 平日昼間は、働いている保護者が多いことや、授業等で図書館に来られないこどもたちが多いことから、土曜、日曜の「おはなし会」を継続して実施した。 4歳児から小学生の部 実施回数：205回 参加：延べ1,164名 ・「よるのおはなし会」 夏の季節に合わせた少し怖い内容の「おはなし会」 実施回数：8回 参加：延べ378名 ・「スペシャルおはなし会」 クリスマスシーズンに合わせた「おはなし会」 実施回数：8回 参加：延べ267名 ・「絵本のへや」 0歳児からのこどもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうた等の実施 実施回数：94回 参加：延べ1,281名 ・4月23日の「子ども読書の日」に合わせ4月1日から5月15日を「こだいらこども読書月間」とし、全館で絵本の展示や本のセットの貸出し、「読書ノート」の配布等、こどもと本を結ぶ行事を開催した。	・土曜日、日曜日の「おはなし会」では、平日に来られないこどもたちや保護者に参加してもらうことができたため、継続して実施する。 ・「よるのおはなし会」、「スペシャルおはなし会」は、こどもが多く集まる会だったため、適正な人数を検討し、内容を工夫して今後も開催していく。
4	【新】これから子育てをする方へのサービス	図書館	・これから子育てをする方へ向けた、「プレパパ・プレママおはなし会」の定例的な開催の検討	・出産を控えた方や3歳までのこどもがいる家庭を対象に、育児本や絵本、自宅で楽しめるわらべ歌のリストなどをセットにした「本で子育ておうえんセット」の貸出を全館で行った。	・今後も子育て支援につながる企画を検討する。
5	おはなし室の開放	図書館	・乳幼児と保護者が、絵本とふれあいながら図書館で過ごせるよう、おすすめ絵本を揃えた上でおはなし室を開放	・乳幼児と保護者が参加する「絵本のへや」の後にはなし室等を全館で開放し、親子で絵本を楽しむ場を提供した。	・周囲に気兼ねなく絵本を楽しむ場を提供できただけでなく、「絵本のへや」に参加した親子同士の交流を生むきっかけにもなったため、継続して実施する。
6	子育て支援課との連携	子育て支援課	・「子育てガイド」の発行、こども向け図書館行事の掲載	・「こだいら子育てガイド」に図書館情報やこども向け図書館行事の案内を掲載して9,000部発行し、図書館のほか、公民館、保育園、関係機関等、子育て世代の利用者の目に触れる場所に設置した。 ・母子健康手帳交付時・転入手続き（手当等）時や子育て中の保護者の目に触れるよう、各公共施設等に	・今後も継続して実施し、情報提供する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
				設置したことで、図書館の情報を提供することができた。	
		図書館	・子育て支援課発行の、子育てに関するガイドブックの受け入れ	・図書館情報も掲載した「こだいら子育てガイド」を図書館資料として受け入れ、地域資料コーナーに配架した。また、配布用に子育て関連コーナーに設置した。	・今後も相互協力を行い、それぞれの情報が子育て世代の家庭に届けられるよう努める。

2 学校等における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
1	学校図書館指導年間計画の作成と実施	学校・指導課	・各教科等の学習活動と読書活動推進に関わる計画を作成し、図書館利用の促進、読書時間の確保等の実施	・全ての小・中学校で読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成した。 ・各教科等の授業において、学習内容と関連付け、学校図書館の利用を促進した。また、読書活動の時間を、年間を通して計画的に確保し、児童・生徒が読書に親しめるようにした。	・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保及び情報活用能力の育成について、継続して行う。
2	学習情報センター機能の充実	指導課・図書館	・こどもが主体的に問題解決のための情報収集や探究活動に取り組む能力を育成するための、学校図書館における学習情報センター機能の充実	・学校司書を対象に、講義や事例研究等の研修を行い、学校図書館の機能の理解・啓発を行った。 実施回数：6回 参加：延べ134名	・学校において、図書館資料を使って授業を行うことや、授業に関連した資料検索を学校司書に相談するなどの取組を行うことで学習情報センター機能の周知と充実を図り、今後も継続して行う。
3	学校図書館システムの整備	学校・学務課	・学校図書館システムの活用	・学校図書館システムの活用による蔵書管理を行い、貸出・返却・予約などの管理業務を行った。	・今後も、学校図書館システムを活用し、蔵書数の適切な管理業務を継続して行う。 ・学校図書館システムの更新により、学校司書の管理業務の負担を軽減し、児童・生徒向けの読書活動や広報活動に充てる時間を拡充する。
		図書館	・学校図書館システムの環境整備	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員が、学校図書館システム操作関連の相談に対応した。 ・学校司書との連絡や情報共有を行うため、学校図書館システムの掲示板機能やメール機能、共有フォルダ機能を活用した。	・仲町図書館を中心とした学校司書との情報共有や学校司書研修の更なる充実を図るために、今後も、学校図書館システムの環境整備を進める。
4	学校における市立図書館資料の活用	学校	・図書館の調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）や、年度ごとの学級文庫用の図書貸出（団体貸出）と、学校での活用	・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。	・今後も活用する。
		図書館		学校からの依頼に応じ図書の貸出を行った。 ・調べ学習図書の貸出： 小学校 10,597冊 中学校 514冊 ・学級文庫への貸出： 小学校 10,360冊 中学校 0冊	・古くなった調べ学習用図書を順次新しいものに入れ替える。 ・今後も、学級文庫用図書の貸出事業を行うにあたって、学校からの依頼を受け学校図書館相談員が選本する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課・学校	・学校ごとの購入方針・廃棄基準の整備、蔵書の整備	・学校図書館の蔵書数の基準は、文部科学省の「学校図書館図書標準」で学級数などに応じて示されている。蔵書数の基準の達成に向けて、各学校の購入方針を考慮した予算を令達した。 ・学校図書の廃棄基準については、全国学校図書館協議会で作成している「学校図書館図書廃棄基準」に準拠して計画的な廃棄を行った。	・学級数の急な増加により「学校図書館図書標準」を下回る場合があるため、学級数などに応じた学校への令達予算の配当により、各校の裁量を確保しつつ、購入と廃棄のバランスを図り「学校図書館図書標準」の達成を目指す。 ・「学校図書館図書標準」を達成しつつ、蔵書新鮮率を高めることで魅力ある学校図書館づくりに努める。
6	学校図書館担当教諭の資質向上	指導課・学校	・各学校との情報交換及び学校図書館担当教諭の指導力の向上	・年1回の学校図書館司書教諭等連絡協議会において、他校や他自治体、教員と学校司書との効果的な連携等を共有するなどして、担当教諭の指導力向上を図った。	・図書館の価値について再確認し、児童・生徒の読書意欲を高めるための指導の工夫について、事例を共有するなどして引き続き取り組む。
7	啓発・広報の充実	学校	・読書週間の活用、図書館だよりの発行等	・各学校において、年度当初や読書週間に図書館だよりを発行した。	・今後も、読書への関心が深まるような広報を継続して実施する。
8	児童・生徒の主体的な読書活動の推進	学校	・図書委員会の取組や児童・生徒自身による主体的な読書活動の活発化	・一部の学校において、読書習慣の定着や言語活動の充実、及び発信する力の育成を図るため「ビブリオバトル」を行った。	・今後も、児童・生徒の主体的な読書活動を活発化するために、児童会・生徒会を中心とした主体的な取組事例を共有する。
9	小・中学校の学校図書館の機能の充実	図書館・指導課・学校	・学校図書館の役割である「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実	・学校図書館司書教諭等連絡協議会を年1回開催し、これからの学校図書館のあり方について学ぶとともに、各校の取組について情報交換を行った。	・児童・生徒の主体的な探究活動につながる機能の充実に努める。 ・今後も、学校図書館の現状を確認し、機能の充実を検討する。
10	学校司書への研修会の開催	図書館・学校	・学校司書への研修会の実施	・学校司書への研修会を中央図書館等にて実施した。 実施回数：6回、参加：延べ134名（再掲）	・今後も、研修会を定期的に実施し、学校司書の資質の向上を図る。
11	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館	・学校図書館システム操作に関わる支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員により、システム操作関連の相談に対応した。	・今後も、図書の受入れ・廃棄や蔵書点検、児童の進級に関するデータ処理等、システムに関する相談支援を継続する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
12	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	図書館	・特別な支援を必要とするこどもの特性に配慮した読書環境の整備と読書機会の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデイジー図書の貸出や、図書館所蔵のデイジー図書、布の絵本、LL ブック等の学校図書館への提供による読書活動の支援 ・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のあるこどもが学校図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	・図書館で、布の絵本・遊具や点訳絵本、児童書のデイジー図書や大活字本、外国語の絵本等を収集・配架した。 ・図書館において「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、LLブックなどの展示をし、通常の活字を読むことが困難なこどもに対して様々な形態の資料を紹介した。	・今後も、支援を必要としているこどもや周りの大人へ情報の周知を図る。 ・今後も、学校図書館との連携を図る。 ・読書バリアフリー法に基づく学校図書館との連携について研究する。
		指導課・学校		・個別の実態に応じた図書を、図書館と連携して準備・活用した。 ・図書館と連携し、児童・生徒の多様な興味や学習のニーズに応じて、幅広いジャンルやテーマの本を揃えた。また、こどもたちの特性を考慮して、写真や図、絵が多くある本や短編集等の内容が簡潔にまとめられている本なども揃えた。 ・「発達障がい啓発特別展示」では、図書館、障がい者支援課が行う展示とともに、指導課では小平市立学校の特別支援教育についての展示を行った。	・今後も図書館と連携し、児童・生徒が読みたい本を探しやすい配架の工夫などの環境整備に努める。
13 ・ 15	幼稚園の図書館見学 幼稚園における読書活動の推進	図書館	・幼稚園の図書館見学の受け入れ ・読み聞かせに関する講座の保護者への情報提供	・市内幼稚園の図書館見学を中央図書館で受け入れた。館内の見学の他、児童コーナーの絵本の探し方や利用の際の注意点を伝えるなど、こどもたちの今後の図書館利用に役立つ内容を説明した。 受入：1 園 参加：56 名	・図書館見学では、こどもたちの興味を引き、図書館の面白さを直接伝えることを中心に、今後も継続して実施する。
14	保育園における読書活動の推進	保育課	・保育士による絵本の読み聞かせや、小平市子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」による「おはなし会」の実施	・保育士がこどもたちに日々読み聞かせを行い、こども達が自ら絵本を手にとることができる環境を年齢に応じて整えた。 ・読書週間の前後に、「絵本に出てくるメニュー」を給食として8回提供した。 ・「いとぐるま」による「おはなし会」を実施した。 実施園：9 園 実施回数：76 回	・こどもたちが絵本と触れ合うことで触発された様々な興味関心が、保育内容の充実につながり、それが更なる読書活動の推進となるため、引き続き取り組む。

3 図書館・地域における読書活動の推進

施策項目の【新】は第4次計画における新規項目

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
1	小学校入学年時における図書館案内	図書館・学校	・すべての新1年生に対して、入学時に学校を通してこども用図書館案内を配付	・図書館の夏休みおすすめ本リスト配付時に、1年生に対して利用登録申込書を配付した。	・小学校入学時に、もれなく情報が届けられるよう学校と連携する。
2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館	・図書館職員が選んだ、夏休みにこどもたちに読んでほしい本の紹介リストを作成し、市内小・中学校に配付。また、夏休み期間に全館でおすすめ本とリストを別置	・小学校低学年、中学年、高学年用に各18冊、中学生用に18冊を紹介したリストを市立小・中学校の児童・生徒全員に配付するとともに、図書館に別置コーナーを設けた。 別置冊数：小学生1,971冊、中学生396冊	・今後も楽しく読める良質な本を紹介する。
3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館	・図書館の仕事を体験してもらう企画として、毎年、小・中学生向けには「夏休み家族一日図書館員」、高校生向けには「図書館ボランティア体験」の開催	図書館で次の行事を実施した。 ・「夏休み家族一日図書館員」【全館】 参加：21名 ・中・高校生向け「図書館ボランティア体験」【中央図書館】 参加：7名 このほか、各図書館において、次の行事を実施した。 ・「おはなし工作会」【中央図書館】 実施回数：2回 参加：16名 ・「ぬいぐるみのおとまり会」【中央図書館】 実施回数：3回 参加：30名 ・「英語でおはなし会」【中央図書館】 参加：44名 ・「お札のふしぎ大発見！」【小川西町図書館・上宿図書館共催】 参加：23名 ・「親子で楽しむおえかきワークショップ」【津田図書館・喜平図書館共催】 参加：37名 ・「消しごむハンコを作ろう～自分だけの蔵書印を作ろう～」【花小金井図書館・大沼図書館共催】 参加：8名 ・「図書館実験教室 紙ひこうきをとおくにとばす」【喜平図書館】 参加：8名	・今後も小学生から高校生の世代の関心をひく内容の行事の実施を検討する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
				・「絵本の世界を体験しよう！」【仲町図書館】 参加：16名 ・「こどものためのライブラリーコンサート」【仲町図書館】 実施回数：2回 参加：180名 ・「FUNFUN子育て広場」【仲町図書館】 参加：21名 ・「江戸の曲芸を楽しむ会」【仲町図書館】 参加：25名	
4	市内小・中学校におけるブックトークの実施	図書館・学校	・学校からの依頼により、図書館職員が授業や全校集会においてブックトークを実施	・学校からの依頼により、クラス単位での実施や、体育館での実施、各クラスへの全校放送での実施など、学校の状況に応じて実施した。 実施校数：小学校4校、中学校1校	・今後もこどもたちの読書活動のきっかけとなるよう様々な分野を取り入れ、新たなテーマでのプログラム作成を検討する。
5	読み聞かせに関する講座の実施	図書館	・図書館職員を講師とした読み聞かせの講座の実施や絵本の紹介等	・読み聞かせボランティアを対象に「読み聞かせ講座」の出前講座を実施した。 ① 小平市社会福祉協議会からの依頼により、さわやか館（高齢者館）内の東部ボランティアコーナーで読み聞かせ活動を行うボランティア（「絵本の読み聞かせ入門講座」） 参加：8名 ② 小平地域教育サポート・ネット事業講座の講師として、花小金井小学校で読み聞かせ活動を行うボランティア（「読み聞かせ講座」） 参加：11名 ・外部講師を依頼し、学校や地域でこどもたちに読み聞かせの機会のあるボランティア等を対象に「絵本の読み聞かせ実践講座」を開催した。 【中央図書館】 実施回数：全2回 参加：23名	・図書館職員を講師とした「読み聞かせ講座」について、今後も広く周知を行い実施する。 ・講師を招いて行う「絵本の読み聞かせ実践講座」は、良質な本の選び方や読み聞かせについての講義と、読み聞かせの実践の両方が学べる講座であり、今後も継続して実施する。
		公民館	・こどもの読書に関わる講座を実施	・中央公民館の「友・遊こどもまつり」において、こどもを対象とした絵本の読み聞かせを実施した。また、「いきもの展示」に合わせて、カブトムシ・クワガタに関する本を展示した。 ・小川公民館の土曜こども広場「友・遊」と同時開催で、中央図書館出張「おはなし会」を実施した。 参加：6名	・絵本を通し、こどもの感受性や創造性を豊かにし、親子のコミュニケーションを図る機会の創出につながる講座の実施に努める。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
		地域学習支援課	・「小平地域教育サポート・ネット事業」における地域住民等のボランティア対象の研修等において、図書館員を講師とした講座等を実施	・学校図書館ボランティアの養成等を目的とする講座を実施した。 実施校数：10校 12講座 参加：延べ133名	・今後も継続を図り、こどもの読書環境の充実につなげる。
6	こどもたちにとって魅力ある図書館の環境整備	図書館	・ティーンズコーナーの充実、環境整備	・各図書館のティーンズコーナーに、ティーンズ世代向けの図書・雑誌を収集・配架し、ティーンズ世代に興味・関心をもってもらうための取組を行った。 ・中央図書館では、令和6年度にティーンズコーナーの座席数を増やし、パーテーションを設置した。 ・中央図書館では、「仕事」「進路」「部活動」に関する本の展示を行った。 ・ティーンズ委員会で「ティーンズ委員会大賞」の本を選び、結果をポスターで各図書館に掲示した。委員が大賞本等のPOPを作成し、仲町図書館ティーンズコーナーで大賞本・大賞候補本とともに展示した。	・今後も中・高生を中心としたティーンズ世代の関心をひくような内容の展示・行事を企画する。
7	【新】こどもの読書推進の支援	図書館	・こどもの自発的な読書につながる取組の実施	・「読書ノート」を作成して秋の読書週間に配布及びホームページに掲載し、本を5冊読んだ記録を図書館に提出したこどもにプレゼントを渡す企画を実施した。 配布冊数：1,086冊。 ・読書のきっかけとなり、その後の学習や読書活動につながりものとして令和3年度に導入した学習マンガの新規購入を継続して行った。 ・本を選べないこどもが本を手取るきっかけ作り、自分では選ばない本を読む機会の提供として、テーマと年齢ごとにまとめた本のセットの貸出を行った。 ・本を借りておみくじを引くイベントや、絵本の内容についてのクイズを解いてもらうイベントを実施した。 ・各館の児童書展示コーナーにおいて、季節に応じた図書の展示を行った。	・作成した「読書ノート」を、イベント性を持たせながら活用する。 ・今後も、こどもが楽しく参加し、本に親しめる取組を企画する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
8	職場体験、奉仕体験、インターンシップや実習生の受入れ	図書館・学校	・図書館の様々な業務を体験してもらう中学生の職場体験の受入れ ・司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れ	・職場体験として中学生 40 人、高校生 1 人を受入れた。 ・インターンシップ実習生として大学生 1 人を受入れた。	・今後もキャリア教育の一環として、また、図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため実施する。
9	【新】ティーンズ委員会の開催	図書館	・10 代の中高生を募集してティーンズ委員会を開催	・4 回の委員会を開催した。 ・委員による話し合いのもと、フィクション部門・ノンフィクション部門で各 1 冊の大賞作品を選出した。 ・委員が大賞本等の POP を作成し、仲町図書館ティーンズコーナーにて大賞本・大賞候補本とともに展示した。（再掲） ・大賞決定に関するポスターを市内中学校・各図書館に配付し周知を図った。	・今後も学校図書館等と一層の連携を行い、ティーンズ委員会の周知を図る。同時に多様な参加者による交流の機会を提供することにより、青少年の読書活動の推進を図る。
10	【新】情報リテラシーの支援	図書館	・レファレンスサービスの充実、情報リテラシーを養うための企画の検討及び啓発	・中学生・高校生に新聞の商用データベースを紹介するレファレンスサービスを提供した。	・中学生・高校生に対するレファレンスの充実を図るとともに、職員が利用者の質問や調査依頼に迅速かつ的確に対応できるよう、対応力や情報検索スキルを向上させる取組を図る。
11	【新】アーカイブの利活用促進	図書館	・郷土学習に「こだいらデジタルアーカイブ」を利活用してもらうための講座・イベント等の開催	・「こだいらデジタルアーカイブ」の利活用を促進するため、講演会と展示「鷹場と小平」を行った。	・デジタルアーカイブを活用したイベント等の実施を検討する。
12	市内の高等学校との情報交換	図書館	・高校生の読書推進や図書館利用につながる展示、行事の開催	・中央図書館で職場体験に来た中学生、高校生におすすめしたい本の POP を書いてもらい、本とともにティーンズ展示コーナーに展示した。 ・中央図書館で、「仕事」「進路」「部活動」に関する本の展示を行った。（再掲）	・高校生が必要としていることや、学校生活の中で役立つことなどに応じた企画を検討する。
13	特別な支援を必要とするこどもへの支援	図書館	・布の絵本・遊具、点訳絵本や録音図書、大活字本、外国語の図書・絵本の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデイジー図書の貸出 ・デイジー図書・マルチメディアデイジー図書、LL ブック、大活字本等の PR ・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のあるこどもが市立図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	・サピエからのダウンロードを含むデイジー図書 715 タイトルについて個人貸出を行った。 ・「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、LL ブックなどの展示をし、通常の活字を読むことが困難なこどもに対して様々な形態の資料を紹介した。 「発達障がい啓発特別展示」では、障がい者支援課と連携して、ペアレントメンター（発達障がいのこどもを持つ親の相談員）事業、白梅学園大学小平市連携療育事業、子ども家庭支援センター事	・引き続き、通常の活字資料の利用に困難があるこどもの読書を支援する資料・体制の充実を図る。 ・今後も支援を必要としているこどもや周りの大人たちに情報提供する。 ・読書バリアフリー法に基づく図書館の施策のあり方について研究する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
				業、児童発達支援センターの紹介も併せて展示した。 また、指導課は小平市立学校の特別支援教育についての展示を行った。 ・布の絵本・遊具で遊ぶイベントを実施した。	
14	ホームページの充実	図書館	・見やすく使いやすいホームページを目指した内容の充実	・図書館で行っている展示の資料リストを図書館ホームページから閲覧して予約もできるようにWeb－OPAC に掲載し、利用者が自宅から予約する資料を選択しやすくした。	・今後も、図書館のホームページをさらに見やすく使いやすくし、魅力ある情報を伝えられるよう充実を図る。
15	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館	・地域でこどもの読書活動推進のための活動を行う小平市子ども文庫連絡協議会に対する活動場所の提供や行事の共催等による支援	・協議会の自主活動の場所の提供及び市との共催行事を実施した。 【共催行事】 ・児童文学講演会「元書店員で絵本作家が語る、おすすめ絵本、ふれあった作家たち」 参加：60 名 ・こどもが感じているおはなしの世界を大人にも体験してもらう「大人のためのおはなし会」 参加：7 名	・今後も、図書館行事の共催など、相互協力等を通じ支援を行う。
16	児童館における読書活動の推進	子育て支援課	・児童館内の図書コーナーの充実と絵本の読み聞かせや紙芝居などの行事の開催	・各館で読み聞かせイベントを実施した。 【花小金井南児童館】 ・かみしばいサークル「ともしび」による、紙芝居の読み聞かせを隔月実施 参加：延べ 131 名 ・乳幼児向け絵本、小学生向け読み物等の追加 ・保護者向けに子育て情報誌を定期購読で追加 ・こども会議内で読みたい本等についてのアンケートを実施、検討、購入 ・ふれあいデーや親子クラスなどの乳幼児向けイベントの中での職員による読み聞かせを実施 【小川町二丁目児童館】 ・乳幼児向けの読み聞かせイベントを毎月 1 回実施 参加：延べ 223 名 ・乳幼児向け、小学生向けに読み物を追加 ・乳幼児保護者向けのおすすめ絵本や子育てに関する書籍のコーナーを設置 ・小学生、中学生向けに雑誌を追加	・利用者の実態に合わせた書籍の選定を、継続して行う。 ・引き続き、中高生が興味を持つ雑誌や書籍等を購入する。 ・乳幼児ふれあいあそび内の読み聞かせに加え、乳幼児クラスでの読み聞かせ、職員推薦図書の紹介を引き続き実施する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和6年度実績	今後の展開
				【小川町一丁目児童館】 ・乳幼児向けの読み聞かせイベントとして「いっしょにおはなし」を月 1 回実施 参加：延べ 123 名 ・地域の読み聞かせボランティアグループによる、読み聞かせイベント「えほんのせかいへ」を実施 ・乳幼児向け絵本を追加 ・乳幼児、小学生向けにおすすめ本コーナーを設置し、毎月職員が選定して紹介	
17	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課	・絵本の読み聞かせや紙芝居等の実施	・小学校全 19 校で実施している放課後子ども教室において、紙芝居・読み聞かせ等の教室を 12 校で開催した。	・今後も、事業継続を図り、こどもの読書活動につなげる。
18	学童クラブにおける読書活動の推進	子育て支援課	・学童クラブ内の図書コーナーの充実と読書の時間の確保及び読み聞かせの実施	・市直営の学童クラブ（22 クラブ）において、新たに 619 冊（うちマンガ本 363 冊）を購入し、充実に努めた。	・今後も、図書コーナーの充実を継続実施する。
19	児童文学講演会の開催	図書館	・大人に向けた児童文学に関する講演会等の開催	・小平市子ども文庫連絡協議会との共催行事として、児童文学に関する講演会を開催した。 【共催行事】 ・児童文学講演会「元書店員で絵本作家が語る、おすすめ絵本、ふれあった作家たち」 参加：60 名 （再掲）	・小平市子ども文庫連絡協議会と連携しながら大人に対する児童文学の啓発に取り組む。
20	リサイクル本の提供	図書館	・ブックリサイクル予定の本を市内の保育園等に提供	・市立保育園に 434 冊の資料を提供した。 ・図書館で常設のブックリサイクルコーナーを設置し、児童書を含む 6,660 冊の提供した。	・リサイクル本の有効活用ができるよう、関係機関の要望に応じ、今後も継続して提供していく。
21	子ども読書の日になんだ行事の開催	図書館	・「子ども読書の日（4 月 23 日）」になんだ行事の開催 ※注）「子ども読書の日」は、国民に広くこどもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、こどもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に「子どもの読書活動の推進に関する法律」第十条により定められている。	・4 月 1 日から 5 月 15 日の期間を「こだいらこども読書月間」とし、各館で「おはなし会で読まれた絵本」や、布の遊具・絵本の展示を行った。また、分室を含めた全館で「読書ノート」の配布を行い、本を 5 冊読んだ記録を図書館に提出したこどもにプレゼントを渡す企画を実施した。 配布冊数：1,043 冊	・今後も市内全域で読書に対するこどもの関心を高めるために、「こだいらこども読書月間」を全館で継続して実施する。

第 4 次 小 平 市 子 ど も 読 書 活 動 推 進 計 画
【令和 6 年 度 進 捗 状 況】

発 行 令和 7 年 9 月
編集・発行 小平市中央図書館
小平市小川町 2 丁目 1325 番地
電話 042 - 345 - 1246 (代表)
電子メール tosyokan@city.kodaira.lg.jp